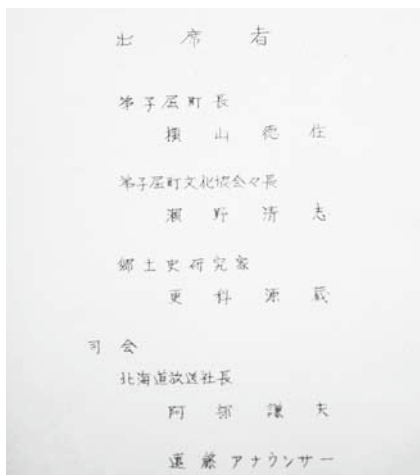


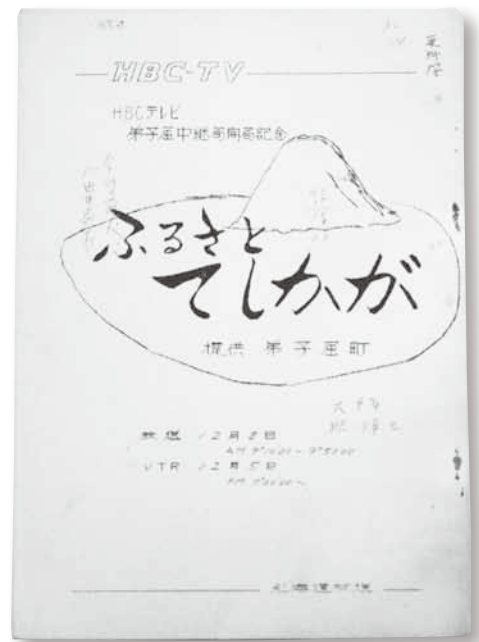


更科源蔵(さらしなげんぞう)
●1904(明治37)年、弟子屈町熊牛原野(南弟子屈)に生まれ、1985(昭和60)年に81歳で逝去。東京麻布獣医学学校を中退した後、尾崎喜八、高村光太郎に師事し、詩作を中心に郷土史、アイヌ文化研究など主に文学活動が続けた。
▶弟子屈町で所蔵しているさまざまな資料を紹介する。

著書の検印などに使っていた自作のエゾシカ印



台本の表紙(上)と出演者欄(左)



放送台本『ふるさと てしかが』

更科は、北海道の風俗やアイヌ文化の解説などでラジオやテレビ放送に出演する機会が多くありました。更科資料には放送台本類もあり、その中の一つに、北海道放送(HBC)の「ふるさと てしかが」の台本があります。

『弟子屈町史―昭和56年(1981年)』によれば、弟子屈でテレビ放送がきれいに受信できるようになったのは、1964(昭和39)年12月6日、仁多山にテレビ中継所が設置されてからでした。この弟子屈の記念すべき日に合わせて、北海道放送で記念番組が組まれたのです。番組収録は12月5日に行われ、出演者は当時の横山徳住弟子屈町長、瀬野清弟子屈町文化協会会長、郷土史研究者・更科源蔵、司会は阿部謙夫北海道放送社長と遠藤アナウンサーでした。12月8日に放送されています。

台本には番組全体の流れが書かれています。アナウンサーの問いに更科が答える形になっていて、和人として最初に弟子屈を訪れた人は松浦武四郎

- 地名の由来
- 先住民アイヌと受刑者
- 当時のアイヌの生活―豊富な採取資源・平和なアイヌ同士の

この番組も含めて、録音テープやVTRがどこかに保存されていると、更科文学において文字では表現できなかったこと、例えば更科の北海道の歴史や風俗の捉え方、更科の人物像がさらに分かるのです。

更科資料には数点の録音テープがありますが、経年劣化で傷んでいることが予想され、他のメディア変換しようにもできない状態です。レコード盤に放送を録音したのもありました。保存状態が良くなく、レコード盤表面に蒸着したビニールが劣化でバラバラになっています。早い時期にメディア変換をしておけばと悔やまれます。

この後、阿部社長を進行役に、横山町長、瀬野文化協会会長の座談会が組まれています。

交易

- 温泉開拓者―白虎隊の落武者
- 更科の父が農業を創設したところ
- 硫黄の発見
- 帝室御料地の意義

などが尋ねられ、フィルム映像と更科の解説で弟子屈が紹介されています。



図書館だより

中央2丁目4番1号
☎(よいほんいろいろ) 482-1616

☆特別展示『みんなの夏休み おすすめ本2013』

「平成25年度版北海道青少年のための200冊」の中から、図書館所蔵の図書を表示しています。

子どもから大人まで、夏の読書や読書感想文に、ぜひご利用ください。

▼期間/8月31日(土)まで

▼場所/特集展示コーナー

☆来館時には「図書館用バッグ」を

図書館の窓口で「借りた本がカバンに入り切らなくて...何か袋ありませんか?」と聞かれることがよくあります。また、雨などで濡れると本が傷んでしまいます。

お手持ちのエコバッグなどを、図書館用バッグとして活用してみたいいかがでしょうか。

※お盆の間も開館しています。どうぞご利用ください。

新刊案内

カワイイ!!道民わんこ

北海道新聞社/編

北海道新聞社が募集した、愛犬の「とっておきの1枚」をまとめた写真集。道内に住む愛らしい犬たちに、思わず笑みがこぼれます。応募約2,000点の中から、飼い主だけに見せるとびきりステキな表情1,018点を厳選。



おすすめの新聞

「東京ホタル」

「旅する種まきびと」

「聖なる洞窟の地 エイラ地上の旅人」

「パソコンの困ったを即効解決する本」

「命のビザを繋いだ男 小辻節三とユダヤ難民」

「原色日本鳥図鑑」

「尾木ママ、どうして勉強しなきゃいけないの?」

「体育のコツ絵辞典」

「北海道 水辺の生き物の不思議」

「ニヤンともクマったもんだ」

「たぐさんの新刊が皆さんをお待ちしています!」

中村 航ほか/著

早川 ユミ/著

エイラ 地上の旅人

ジョン・アウル/著

ノマド/著

山田 純大/著

加藤 庸二/著

尾木 直樹/著

湯浅 景元/監修

堀内タケシ/著

新井 洋行/作

The Summer Vacation 実施中!

プレゼント付きの企画もあります。親子で楽しんでください。

- ▶半田晴利・似顔絵展「釧路ロケマップ・スターに乾杯!」-隠れている文字を探してみよう。
- ▶硫黄って!?-川湯と言えば硫黄。そのつながりを紹介。
- ▶アイヌ模様切り絵体験-折って切るだけなのに、ハマります。
- ▶折り紙で北海道にいる動物を作ろう。

▶ガイドウォーク随時開催!
詳しくは、ホームページ(http://www6.marimo.or.jp/k_emc/)も、ご覧ください。



川湯エコミュージアムセンター(EMC) ☎483-4100
8月は8:00~17:00開館(無休) 8月3日(土)~18日(日)は開館時間を19:00まで延長!

EMC通信

~川湯の森から~



どんな作品が生まれるかな

形の違うマツボックリ、木の枝や実、葉っぱなどが目の前にあります。これらを使って何かを作るとしたら、皆さんはどんなモノが頭に浮かびますか?

自然素材を使って世界に一つだけの作品を!

作品が次々に生み出され、スタッフもビックリです。「この恐竜を作るんだ!」と言って、お気に入りの絵本持参で来てくれた男の子。「おじいちゃんとおばあちゃんへのお土産にする」と1時間近くかけて仕上げた小学生の姉妹もいました。夏休み期間中は、工作の宿題として創作に励む子どもたちの姿が多く見られます。ご家族で挑戦してみたいかがですか?かえって、大人の方が夢中になってしまつてみたいですよ。

素材は準備してありますが、できれば材料集めから始めるのがオススメです。自然素材を使った手作りの品は、思い出と一緒にずつと残ることでしょう。今年の夏、センターでは写真立てが作れるキットも用意しています。ぜひ、作りに来てください。